

第3次総社市総合計画 基本構想（素案） パブリックコメントに寄せられたご意見の要旨と市の考え方について

通番	区分	ご意見の要旨	市の考え方
1	基本目標 1 住む人にやさしいまちを創る 基本目標 3 学ぶ人にやさしいまちを創る	<p>人口減少が進む北部や西部地域の住民にさらに寄り添った施策ができないかと考えています。</p> <p>北部や西部地域の住民の方々は、景観向上、耕作放棄地対策、交流促進、住民福祉など、市民提案型事業なども活かしながら、皆さんの得意なことに取り組まれています。一方、お話を伺うと、「次世代の担い手確保」については、諦め感であったり、「何をすればいいのか分からない」という思いをお持ちの方も少なくないと思います。</p> <p>そこで、行政の施策として、外部人材（教育コーディネーター）を採用し、学校と地域をつなぎ、総合学習をはじめ、地域のことを知る「教育の伴走」であったり、「生徒が取り組みたいことの伴走」してもらうことはどうかと考えます。このことを通じて、若い世代が自ら「基本目標5 みんながワクワクするまちを創る」の「①地域資源のブランディング ②総社の魅力を発信」に取り組む機会にもなると考えます。</p> <p>北部や西部地域の人口減少を抑えることは簡単ではありませんが、教育への取組を通じて、若い世代が地域のことを知り、活動する機会を通じて、「将来の担い手」となることに施策になりうると感じています。</p> <p>特区の取組に加えて、さらに教育の取組が進むことで、地域外からの通学の促進につながる可能性もありますし、生徒が新設された市民提案型事業のジュニア部門を活かすことにつながると考えます。</p> <p>新たな「総社流」の地域に寄り添う施策を期待します。</p>	<p>第3次総社市総合計画基本構想では、基本施策として「こども・若者が主人公になれるまち」や「魅力ある教育環境の創造」を掲げており、ご提案をいただいた内容は、同じ方向性を向いているものと考えます。</p> <p>具体的な施策につきましては、第3次総社市総合計画基本計画の施策としてどのように反映するか、具体的な事業としてどのように展開するかについて、いただいたご意見も参考に検討してまいります。</p>

通番	区分	ご意見の要旨	市の考え方
2	計画の基本目標	<p>I. 5個の基本目標のうち第5を、生産サイドの逞（たくま）しく豊かな成長を展望するように、夢大きく組み替えたい。優しさは、豊かさを支え儲ける産業や税収の存在で、発揮できると思う。</p> <p>基本目標5（案）の生活者市民的なやさしい「みんながワクワクするまちを創る」は基本目標4（案）に併合し、新たに、基本目標5を、生産業者市民的な「みんながたくましく強く豊かに成長するまちを創る」にする。</p> <p>(1) 市民の暮らしで、市民部、福祉部、建設環境部が音頭を取るべき消費サイドの受け身の優しい安心福祉創りの基本方針1～4に加え、産業部、財政部、教育文化部が音頭を取るべき生産サイドの逞しく強く豊かな総社市を展望する基本方針5にしたい。</p> <p>(2) 生産サイドの主役プレーヤーであるべき第1部、第2章(1)の第一次産業人口と(2)の事業所経営の計3500人に対して、潜在能力的には1(2)の幼青壮老の全市民7万人を含め、逞しく鼓舞する総社市経済社会の「総合計画基本構想」の目標・方針にしたい。</p> <p>(3) 同様に、総社市総合計画の背骨である市民憲章の優しさが通奏する「大切に守る」「明るく築く」「助け合いを作る」に加え、「たくましく豊かに成長する総社市をつくりましょう」を加えたい。</p> <p>(4) 例えば、田園住宅都市に変貌した総社市中央地域の外縁である衰退著しい中山間部に適した振興策には、儲かるGX（社会の緑転換）の事業規模な太陽光発電がある。</p>	<p>第3次総社市総合計画基本構想では、「基本目標1住む人にやさしいまちを創る」から「基本目標4集う人にやさしいまちを創る」までの柱を主に総社市に住む方や働く方を対象とした柱としており、「基本目標5みんながワクワクするまちを創る」は、総社市民や来街者をはじめ、いわゆる「関係人口」と呼ばれる層、すなわち、総社市を訪れたことは無くても、様々な活動により総社を支えてくれるすべての人を対象とした柱としております。</p> <p>自治体運営においては、産業と財政、地域生活は一体的なものであり、切り離して考えるのではなく、総社市の産業を担う経営者や労働者の皆様は、同時に、総社市で生活を送る市民であると捉えています。</p> <p>その上で、ご意見いただいた生産者の側面に重点を置いた基本目標としては、「基本目標2働く人にやさしいまちを創る」を打ち出しています。</p> <p>したがって、基本目標は原案のとおりといたします。</p> <p>その一方で、ご指摘のとおり皆様の暮らしを守り、向上させるための源泉は、事業所の皆様の収入であり、産業の活性化無くして市の発展はあり得ないと理解しております。</p> <p>頂いた意見を真摯に受け止め、計画を推進してまいります。</p>
	計画の進捗管理	<p>II. 第2部第3章 計画の進捗管理の評価・検証を、かつての部長目標管理のように、市長室（政策部・総務部）の総合的な指示・責任によるPDCA</p>	<p>計画の進捗管理については、PDCAサイクルを確立するとともに、施策が「進化」、「芯化」、「深化」のどの段階に位置しているかを達成状況のマイルストーン（標石）として活用していきますが、いただいたご意見も踏まえて目的や効果、進捗状況が分かりやすいものとなるように進めてまいります。</p> <p>「2 総社市民が行う創意工夫・充実感ある活動像」としてご提案いただいている内容は、具体的な施策の進め方に係るものと認識しており、第3次総社市総合計画基本計画の施策としてどのように反映するか、いただいたご意見も参考に検討してまいります。</p> <p>その他具体的な施策のご提案については、今後の参考とさせ</p>

	<p>で、重要項目を実行する人・部課・金・スケジュールを示して、業務遂行の市職員が充実感をもって、お気軽・効果的・性善説で行うことを明記すべき。殊に基盤である経済的成長の源泉である生産・税収の確保は重要である。</p> <p>Ⅲ. 市民生活の自治自律的行動への期待・促進の項目として、第２部、第１章の「１ 総社市役所が目指すやさしい都市像」に続き、「２ 総社市民が行う創意工夫・充実感ある活動像」を加えるべき。例えば、私が夢みる活動は、</p> <p>１. 強い生産</p> <p>(1) 都市サラリーマン所得に数段勝る中山間地での事業規模ソーラー団地を作る。</p> <p>(2) 農業生産者にやさしい地食べ公社を通じて、日本一多い出荷品目数をめざす。</p> <p>２. 優しい暮らし</p> <p>生産収益の範囲内で、自己満足感がある地域貢献に使いたい。</p> <p>(1) 老若男女自身が考え発言する事業所内井戸端会議の継続</p> <p>(2) 近隣の自然物の回復と楽しみ場の提供 ため池には今、総社市内で一番多くの釣り人が来訪</p> <p>(3) 近隣の歴史物の回復と物語の提供 悪鬼温羅の妻阿曾女生家の古代豪族賀陽氏の宮原神社旧址の伝承と創作</p>	<p>ていただきます。</p>
--	--	-----------------

通番	区分	ご意見の要旨	市の考え方
3	土地利用方針	<p>国道１８０号バイパス沿線の開発について、色々な挑戦はしているようですが、中々進展は見られません。</p> <p>数年前には、岡山県から職員の派遣を試みて開発事業を進めようとしたようですが、岡山県立大学南部の開発話は消えてしまったようです。</p> <p>我々の地域では、近未来について意見交換を行い作成した資料を、総社市の都市計画課、企業誘致課、総務課等に提出して検討を依頼した経緯があります。「地域未来投資促進法」等を利用した未来の開発事業を期待いたします。</p>	<p>国道１８０号バイパス沿線の開発については、P21 の南部地域、東部地域の土地利用方針の中で示した地域特性に応じたまちづくりの方針に沿って検討を行っていく予定です。</p> <p>具体的な施策につきましては、第３次総社市総合計画基本計画の施策や都市計画マスタープラン及びそれに関連する計画等にどのように反映するか、また、具体的な事業としてどのように展開するかについて、いただいたご意見も参考に検討してまいります。</p>
4	個別事業の要望	<p>日本一やさしい町づくりについて賛成です。また子育て王国総社についても大変良いと思います。そこで提案なのですが昨今、養護施設で生活しているお子さんをできるだけ家庭の環境で育てようとの厚労省の方針もあるなかで、里親を積極的に市を挙げて推進するのはどうでしょうか。里親になると政府から１人につき月に約１４万円の支給があります。子育てに一段落した中高年の世帯やお子さんが欲しくても授からないご夫婦にも養子ではハードルが高くても里親は可能ではないでしょうか。事情があって実の親元を離れて生活せざるを得ない子どもさんを暖かい家庭での環境で育てようとのことを市を挙げて推進するのは日本一やさしい町、そして子育て王国総社にぴったりではないでしょうか。桃太郎も言うなれば里子であり、お爺さんお婆さんそして村の人たちに育てられ村に恩返しをすることができたと言えるかと思います。桃太郎温羅伝説のある総社にぴったりではないでしょうか。里子を引き受けることで人口も増え子育てという仕事も増え財政的にも増え、それにも増して子どもさんに幸せな人生を提供できるので三河商人の三方良しと言えるのではないのでしょうか。</p>	<p>現在、里親制度については、都道府県や児童相談所設置市が実施主体であり、岡山県では岡山県社会福祉審議会の審査を経て、岡山県知事により認定・登録される制度として運営されています。総社市の管轄は倉敷児童相談所となっており、総社市へのお問い合わせ等を頂いた場合には、協力して支援する体制を整えております。</p> <p>また、普及・啓発につきましては、市ホームページや、里親月間に合わせての広報紙への掲載、ポスター・リーフレット等の設置を行っております。</p> <p>具体的な施策につきましては、上記の事情も踏まえながら、第３次総社市総合計画基本計画の施策としてどのように反映するか、具体的な事業としてどのように展開するかについて、いただいたご意見も参考に検討してまいります。</p>

通番	区分	ご意見の要旨	市の考え方
5	個別事業の要望	<p>重要なポイントは地域に関心を持つ人をいかに増やすかだと思います。</p> <p>その原点は、市政であり、議会だと思います。</p> <p>市議会議員選挙の時、議員のことを知らない人が多く、だれに投票していいかわからないので投票に行かないという人が多いのではないのでしょうか。そこで、選挙前に、どの議員がどのような施策に賛成・反対をしたかが一目でみることができる表をサイトなどで見えるようにしてはいかがでしょうか。そうすれば、</p> <p>①市がやろうとしている事業を知ることができる</p> <p>②誰が賛成し、反対しているかを知ること、議員の考え方を知ることができるので、自分と同じ考えの人に投票するようになる</p> <p>③議員本人が市民から監視されていることを認識し責任をもって施策を決定するようになる</p> <p>④学生のサークルやゼミの研究テーマとすることで若年層の学びにつながり市職員の作業負担を削減することができる 以上です。</p>	<p>ご意見いただきましたとおり、地域に関心を持つ人をいかに増やすかは、非常に重要な点であると考えます。</p> <p>市政について、より多くの市民に知っていただけるよう、引き続き、広報活動を行ってまいります。</p> <p>なお、市議会議員の活動については、総社市議会のホームページにおいて、情報を随時公開しています。 https://www.city.soja.okayama.jp/gikai/</p> <p>議員紹介をはじめ、議案、質問、答弁等も全て公開されており、ご自由に閲覧できる環境を整えておりますので、ご活用いただけますよう、お願いいたします。</p> <p>また、年4回の、「議会だより」を発行し、主な質問や答弁、議会の考え方を報告しております。</p> <p>市議会の様子についても同ホームページでリアルタイム配信を実施しているほか、2015年以降の市議会は録画もご覧いただけます。</p>

通番	区分	ご意見の要旨	市の考え方
6	個別事業の要望	<p>・公民館を活用した若者を始めとする多世代の居場所づくり</p> <p>小学生だけではなく、中高生・大学生等、広く若い世代を対象とした居場所として公民館を活用してはどうでしょうか。現在、公民館は社会教育施設として位置付けられていますが、根拠法令を地方自治法とする市民センターへ変更することにより、従来以上に柔軟な運用をすることが可能となります。現在の公民館は、利用者及び講座の減少という課題があり、利用者の多くが高齢者に偏っていることから、若い世代は自らの居場所として認識できていないのが現状です。新たな公共施設の建設はファシリティマネジメントの観点から望ましくなく、既存施設の見直し・利活用をすることで、財政面でもメリットがあります。</p> <p>昨今、若者の居場所としてユースセンターの設置が増えつつあり、岡山県内の自治体においても微増傾向にあります。ユースセンターとはいわゆる若者世代ですが、中高生・大学生を基本的な対象としているようです。一方で、児童館という公共施設も他の自治体では従前から設置しており、こちらは18歳未満の児童を主な対象としています。このように既存政策では、若い世代に限定した居場所を作っているようですが、1日のタイムスケジュールでは朝から夕方にかけて、通学時間帯の児童は施設の利用が困難であり、空白の時間帯が発生することになります。日中は、高齢者や子育て世代も利用できるようにすることで、公共施設の有効活用が可能となります。</p> <p>公民館には多くの場合、市役所正規職員を配置していますが、多世代の居場所を考えるにあたっては職員に限定せず、地域への委託や指定管理を始めとした柔軟かつ適材の人事配置も期待しています。</p>	<p>居場所づくりについては、公民館の市民センター化や他の公共施設の在り方などを含め、利活用について研究・検討を進めていくべき問題であると捉えています。</p> <p>第3次総社市総合計画基本構想の基本施策では、「こども・若者が主人公になれるまち」を取り組むべき最重要課題として打ち出ししているところであり、この世代を中心とする幅広い方の居場所づくりは大きなテーマであると考えております。</p> <p>具体的な施策につきましては、第3次総社市総合計画基本計画の施策としてどのように反映するか、具体的な事業としてどのように展開するかについて、いただいたご意見も参考に検討してまいります。</p>

通番	区分	ご意見の要旨	市の考え方
7	個別事業の要望	<p>・認可外保育所償還払いの見直しで子育て王国のバージョンアップ</p> <p>認可外保育所に通う世帯が償還払いせずに済むよう負担軽減をお願いします。</p> <p>公立保育園・こども園に通園できない場合、認可外保育所を利用していますが、保育料の償還払いという制度があります。しかし、一時的に数万円を支払った後、数か月後に償還があるとしても負担が大きいと感じます。また手続きの多くは窓口へ赴き対面で行うことを要求され、子育て世代には大きな負担となっています。</p> <p>子どもを通わせる園によって教育等の特色が出ることは構いませんが、経済的な負担や手続き上の負担については差が出ないようにしていただけないでしょうか。</p> <p>現在、子育て世代の市民の多くが感じている子育て王国というキャッチフレーズと自分たちが直面する課題のギャップに驚くことが多く、手続きや経済的負担という点でも改善していただきたいと思っています。</p>	<p>国が定める保育の質や運営基準を満たす認可外保育所等を利用された場合、基準に該当する方は、利用した保育料について、一度施設にお支払いいただいたのち、市が保護者の方に支給する償還払い制度を行っています。</p> <p>支給方法については、複数施設利用時の費用上限管理や、施設側の事務負担の増加など、様々な要因があり、現時点では償還払いという方法となっています。</p> <p>しかし、償還払いに関する手続きを含めた行政手続きに関しましては、電子申請による簡略化等、子育て世帯の負担軽減に努めてまいります。</p>

通番	区分	ご意見の要旨	市の考え方
8	人口ビジョン	<p>・ 過剰な人口増を抑制する都市計画</p> <p>現在、人口増は良いことだという風潮がありますが、よく練られた人口増施策に取り組んでいただきたいと思います。</p> <p>人口が増えることで、新たに増えた世帯が利用する公共サービスにも影響します。例えば、人口が増加することで小学校のクラスが増えていく問題があります。人口増の観点から望ましいですが、既存校舎では対応しきれない場合、増設等の負担が増えます。しかし、その土地の人口増には限界があり、子どもが成人して土地を離れた場合、小学校のクラス編成が減少し、空き教室等が発生します。</p> <p>人口増を検討するにあたっては、周辺の小学校等の教育施設への影響も踏まえて、持続可能性のあるものにしていきたいと思います。急激に人口が増えて高齢化を迎えて空き家が発生している団地は総社市内にも数多くあります。人口増は場合によっては空き家問題にも発展するものであり、そのエリアに適した人口増を検討いただきたいです。</p> <p>幸いなことに、清音地区では今日に至るまで人口は微増したものの、小学校のクラス編成は2クラスを維持し続けています。住宅地と市街地調整区域の適度なバランスが幸いしたものと考えられます。</p> <p>地域住民の多くは人口が増えることを期待していますが、各地域に問題を発生させるような人口増は望んでいないと思います。人口増の表現には、もう少し工夫が必要かもしれません。</p>	<p>現在、全国的に少子高齢化傾向が続いている中で、本計画では、人口の将来展望としては、7万人を超える程度までの増加を目指し、その後は人口減少を可能な限り食い止める方向で想定しております。</p> <p>また、地域によって過度な人口増が起きることを懸念されたご意見でもあると理解しておりますが、大規模開発など大きな人口の変動が想定されるような場合には、学校をはじめ、コミュニティ施設や公共交通など、開発主体と協議しながらそのエリアに適した都市計画を進めてまいります。</p> <p>第3次総社市総合計画基本構想は大きな土地利用方針を定めるものであり、具体的な都市計画については、都市計画マスタープランや関連する計画等でお示ししてまいります。</p>

通番	区分	ご意見の要旨	市の考え方
9	個別事業の要望	<p>・地域に身近な職員の育成・配置</p> <p>各小学校区に専属として市職員を配置し、行政の連絡窓口としてほしいです。</p> <p>行政では事務分掌や部署が明確になっており、基本的には担当業務以外のものは担当外として取り扱わないことが多くあります。しかし、住民側からすれば、ある問題が発生した場合、その所管部署や担当者を見つけることが大変であり、行政組織との情報面でのギャップがあります。職員は人事異動で様々な部署を経験しており、住民に比べると、行政関係の事情に精通しており、ある問題が発生した場合、所管部署や担当者を見つけることが容易と考えられます。昨今、行政組織や課題が複雑化しており、住民サイドとしては、困った事案が発生した場合、最初の取っ掛かりを見つけること自体が難しくなっています。</p> <p>また、各小学校区を始めとした地域には個別の事情があり、これらを理解した上で対応いただける職員がいてくれればと思うことがあります。地域住民や地域づくり協議会等と長年に渡り協議してきたこと、取り決めてきたこともある中、担当が変わることによってルールややり方が急変することもあります。</p> <p>もう少し地域に目を向けた職員配置をしていただくとともに、住民目線で仕事を行う職員を増やす意味でも、地域担当職員という制度を検討いただきたいと思います。</p>	<p>住民の困りごとの受け止めについては、あらゆる相談を一手に引き受けるような相談員を設置するのではなく、相談を受けた職員が市民の困りごとを傾聴し、相談内容に合わせて適切な窓口案内ができるよう、寄り添うこととしております。</p> <p>今後も、地域づくり協議会等と連携しながら、基本施策の「日本一市民にやさしい市役所の実現」の中で最適な体制について検討してまいります。</p>

通番	区分	ご意見の要旨	市の考え方
10	個別事業の要望	<p>岡山県では、(総社市も含む) 全国的に見ても用水路に転落して命を落とす人が後を絶ちません。情報によりますと、転落防止柵は通学路でないと設置できないとか、用水路上にごみステーション等が顕在していると、用水路に蓋等の設置は不可等・・・。蓋をすると用水路の掃除ができない。橋等も最小限しか架けさせない等、やらない理由ばかりです。人の命より農業従事者の意見の方が大事と思われます。</p> <p>ちなみに「ヤフーニュース」での岡山市担当者のコメントは用水路転落は怖いけど、それが噛みつくわけでもなく柵をつけてもその隙間から人が転落するかもしれない等全国的にみても特殊な「稀」な意見です。ここでもできない、しないという理由ばかりです。「総社市に住んでよかった」と思えるようにするのなら、このような急な用水路を一つでも少なくし住みよい総社市にしていきたいと思います。</p>	<p>用水路の危険性の問題は、本市においても課題として受け止めています。これまでも、地域住民からの要望等から危険箇所の洗い出しを実施し、転落防止柵の設置等を実施してきております。</p> <p>水利関係者や地域の意向も踏まえ、危険度が高いと判断された場所から、随時対策を講じるよう、努めています。</p> <p>今後も、市民の皆様の命を守ることを最優先とし、本市ならびに地域、警察等とも連携を図りながら、用水路の安全対策に取り組んでまいります。</p>
11	総社市の目指す都市像	<p>総社市は、元気な子どもたちの姿をよく見かける活気のあるまちだと思います。また、若者世代が市の行事に参加したり運営側で協力したりという場面に触れることも多く、そういった若者世代がこれからもふるさと総社を愛し続け、支え、率いていく存在となってくれる未来を、「総社市の目指す都市像」に盛り込んでみてはいかがでしょうか。</p>	<p>いただいたご意見のとおり、若者世代には市の行事等あらゆる場面で活躍をしてもらっております。今年は総社市制 20 周年の年であり、記念式典の企画・運営を総社市に縁のある学生に担ってもらいました。このような事例などを説明文に追記することで、将来都市像を補強させていただきます。</p>

通番	区分	ご意見の要旨	市の考え方
12	個別事業の要望	<p>総社市郊外への大規模アスレチック公園の整備について</p> <p>■現状の課題</p> <p>総社市には子どもが長時間楽しめる大型公園が少なく、「駐車場が不足」「遊具規模が小さい」ため、週末には市外へ流出する家族が多い現状があります。</p> <p>■提案内容</p> <p>総社市郊外に、「6～12歳の児童向け大規模アスレチック公園」「広大な芝生広場・シンボリックな大規模遊具の設置」「無料大型駐車場の整備」「飲食店・子ども用品店等の誘致可能な設計」を整備することを提案します。</p> <p>■期待される効果</p> <p>「岡山、倉敷、高梁など周辺市からの集客増」「土日の家族連れの流入増」「飲食店、物販店の誘致による経済効果」「子育て世代の転入促進」「子育て王国としてのブランド強化」「持続的な観光収入、企業誘致の促進」</p> <p>総社市を代表する「名物公園」として整備すれば、将来的な経済効果は非常に大きく、市の魅力向上に資する施策となります。</p>	<p>総社市では、常盤公園、清音ふるさとふれあい広場、総社北公園、砂川公園など、それぞれに大型滑り台やパターゴルフ場、桃太郎の遊具、BBQ 場など、特色を備えた公園を整備しております。</p> <p>第3次総社市総合計画基本構想においても基本施策として「豊かな暮らしと環境保全の両立」を打ち出しており、既存の施設の利用を促進するとともに、第3次総社市総合計画基本計画の施策としてどのように反映するか、具体的な事業としてどのように展開するかについて、いただいたご意見も参考に検討してまいります。</p>

通番	区分	ご意見の要旨	市の考え方
13	個別事業の要望	<p>訪日外国人向け高級宿泊施設の企業誘致について</p> <p>■現状の課題</p> <p>総社市には「鬼ノ城」「作山古墳」「備中国分寺」など、全国的価値を持つ観光資源があるにもかかわらず、倉敷・岡山からのインバウンド客の取り込みが十分ではありません。</p> <p>■提案内容</p> <p>「星野リゾート等の高級宿泊企業の誘致」「インバウンド向け高級ホテル・旅館・グランピング施設の整備を支援」「SNSやパンフレットによる外国語PR強化」「観光地・宿泊施設間のアクセス改善」</p> <p>■絶対に避けるべき点</p> <p>総社市が第三セクター等で宿泊施設を運営することは避けるべきです。</p> <p>理由:「高コスト」「リスクが大きい」「専門ノウハウが不足」</p> <p>市はあくまで「企業誘致」に専念し、税収・雇用創出を目指すべきです。</p> <p>■期待される効果</p> <p>「外国人宿泊客の大幅な増加」「雇用創出(外国人労働者含む)」「地域経済の活性化」「観光資源の再評価と全国発信」「税収増加による市民サービス向上」</p> <p>総社市が持つ豊かな観光ポテンシャルを最大限に活かす施策として、計画への組み込みを要望します。</p>	<p>インバウンドの取組については、市と観光関連事業者などが連携して取組を進めております。</p> <p>第3次総社市総合計画基本構想においても、基本施策として「地域資源のブランディング」や「総社の魅力を発信」を打ち出しており、外国人を含む多くの方に、総社市の魅力をPRすることは重要な施策であると認識しております。</p> <p>また、ご提案いただいております宿泊施設の誘致につきましては、基本施策「地域経済の活性化」の中で取り組むべき課題のひとつであると認識しておりますが、総社市に進出を希望する企業の望む立地等の条件と、土地規制の条件のマッチングをはじめとして、誘致のための課題が少なくないのが現状です。</p> <p>具体的な施策につきましては、第3次総社市総合計画基本計画の施策としてどのように反映するか、具体的な事業としてどのように展開するかについて、いただいたご意見も参考に検討してまいります。</p>

通番	区分	ご意見の要旨	市の考え方
14	個別事業の要望	<p>「親化（しんか）」 地域の見守り支援を兼ねた「駅サポーター制度」の導入</p> <p>総社市における鉄道駅の無人化に伴う課題は、地域拠点とされている服部駅・美袋駅・清音駅において特に深刻であると考えます。近年、子育て世帯や高齢者人口の増加により、「安心して利用できる公共交通環境」の整備は極めて重要な政策テーマとなっています。</p> <p>とりわけ、切符の購入方法がわからない高齢者や、1人での乗車に不安を抱く小学生・中学生、介助が必要な方々にとって、駅に「人」がいない現状は大きな利用障壁となっています。この状況は公共交通の利用低下を招き、総社市が進める福祉・子育て・地域交通の方向性とも乖離するものです。</p> <p>【提案：地域の見守り支援を兼ねた「駅サポーター制度」の導入】</p> <p>そこで提案したいのが、地域の見守り活動と公共交通支援を組み合わせた「駅サポーター」の配置です。夕方15時～19時を中心としたコアタイムに、駅施設の一部を市が調整し、地域事業者などが無償で借り受けて活動する仕組みを整えるものです。</p> <p>本制度は、私は“親化（しんか）”と名付けました。親のように子どもや高齢者をさりげなく支え、地域をあたたかく見守る総社市独自の取り組みであり、地域拠点駅の価値向上にもつながると考えます。駅サポーターは、以下のような形で地域に貢献できます。</p> <p>「タクシー会社・商店などが駅施設の一部を活用し、二次交通の充実、案内対応、駅前の賑わいづくりを行う」「子どもや高齢者の見守り、軽度の案内」「相談対応」「駅を拠点とした地域コミュニティの活性化」</p> <p>「駅の魅力向上を目的とした簡易イベントや季節装飾の実施」「利用者が安心して駅を使える地域の</p>	<p>第3次総社市総合計画基本構想においても、基本施策として「もっと生活を便利に」を打ち出しており、地域公共交通の利便性の向上は重要な施策であると認識しております。</p> <p>ご提案にありますように鉄道駅を使用する際には西日本旅客鉄道株式会社や井原鉄道株式会社との協議も必要であり、また、駅サポーターとしてご協力いただく方の負担も考慮する必要があります。そのため、まずは、本事業の実現可能性について十分に検討する必要があるかと考えます。</p>

福祉的支援」

また、活動人材としては、市のシルバー人材センター、市役所 OB、地域ボランティア など、地域の経験豊かな人材を活用することで、高齢者の活躍の場にもなり、事業の持続性も確保できます。

【提案のメリット】

「子どもや高齢者が安心して駅を利用できる環境づくり」「地域拠点駅としての価値向上」「高齢者人材・地域人材の活躍機会の創出」「地域の見守り体制強化による 治安向上」「学生が駅を活動拠点（アトリエなど）として利用できる可能性」「二次交通の案内・調整による 交通弱者支援の強化」「観光客・留学生への案内体制の補完」「『子育て王国総社』のブランド向上」「全国でも先進的な無人駅サポートモデル としての PR 効果」

設備の改築・新築に比べても、人材配置は費用対効果が高く、地域の実情に合わせて柔軟に運用できる点が大きな利点です。「人」がいることで得られる安心感は、どの設備投資にも代えがたい価値を持つと考えます。

【総合計画との整合性】

本提案は、第3次総社市総合計画が掲げる以下の基本目標と合致しています。

「住む人にやさしいまちを創る」「働く人にやさしいまちを創る」「集う人にやさしいまちを創る」「みんながワクワクするまちを創る」

これらに加え、「真価」の基本姿勢を踏まえつつ、「親化（しんか）」日本一の地域の見守り都市・総社という新たな価値を計画に盛り込むことが、市民生活の質向上に大きく寄与すると考えます。

【まとめ】

総社市の課題は明確です。「無人駅の利用に不安がある」という市民の声に応え、子どもも高齢者も安心して利用できる地域拠点駅づくりを推進することこそ、人口増、福祉推進、地域交通の活性化に直結します。

		<p>“親化（しんか）”を軸とした駅サポーター制度は、総社市に新しい価値をもたらす先進的な取り組みであり、市民に寄り添う公共サービスとして高い効果が期待できます。</p>	
--	--	---	--